



令和 2 年度

決算報告

令和2年度の決算が、町議会9月定例会で認定されました。皆さんから納めていただいた税金等がどのように使われたのか、町の決算状況についてお知らせします。

☎ 財務課(☎581・2121内線321)

一般会計

一般会計は、私たちの暮らしに欠かすことのできない福祉や教育、防災、生活環境などに係るお金の収支です。

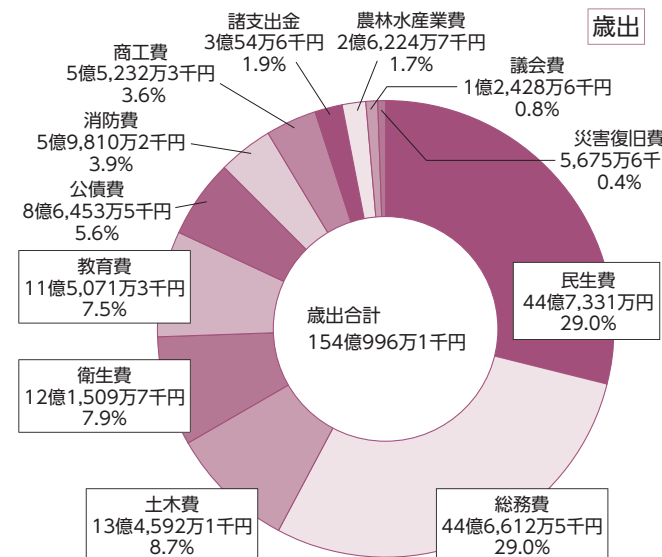
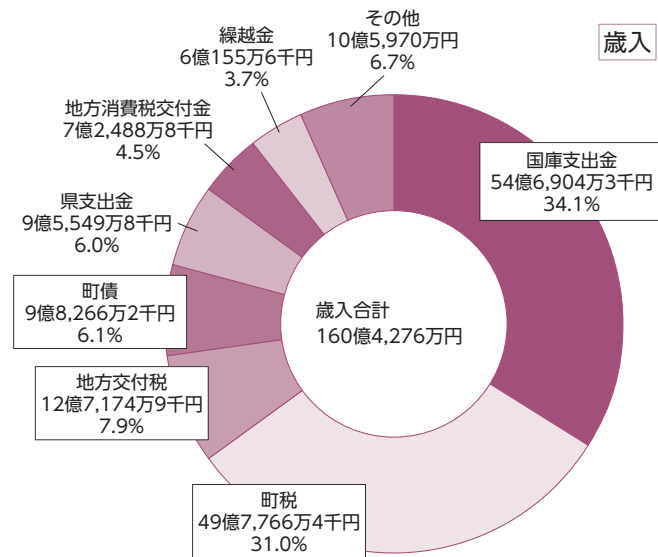
歳入のポイント

歳入は160億4,276万円で、前年度に比べて33億1,959万円(前年度比26.1%増)増加しました。

町の主要な財源である町税について、町民税は個人が増収となったものの、法人が26.8%の大幅な減収となったことなどにより、町税全体で6,558万7千円の減(前年度比1.3%減)となりました。

特別定額給付金給付事業に係る補助金や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の皆増などから、国庫支出金が37億7,268万9千円の増(前年度比222.4%増)となりました。

町債は寄居駅周辺街路整備事業や統合・男衾保育所建設事業等の進捗により、4億7,487万7千円の減(前年度比32.6%減)となりました。



歳出のポイント

歳出は154億996万1千円で、前年度に比べて32億8,834万7千円(前年度比27.1%増)増加しました。そのうち新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した総事業費は、4億852万3千円(前年度比皆増)となりました。その他、主な事業については次のとおりです。

歳出 主な事業

民生費 (3.6%減)	
障害者自立支援給付事業	8億8,250万8千円
保育委託事業	5億968万2千円
児童手当給付事業	4億1,471万2千円

総務費 (278.0%増)	
特別定額給付金給付事業	33億1,460万8千円
電子計算システム管理運営事業	1億6,974万円
庁舎維持管理事業	7,184万4千円

土木費 (31.4%減)	
街路整備事業	4億8,434万9千円
道路改良事業	3億318万8千円
公共下水道事業費	1億3,231万7千円

衛生費 (7.3%増)	
大里広域市町村圏組合負担金	3億2,715万6千円
し尿処理事務費	2億2,232万1千円
ごみ収集事業	1億3,944万8千円

教育費 (25.6%増)	
小・中学校費	5億2,640万4千円
社会教育総務費	1億4,383万6千円

公債費 (4.3%増)	
元金償還金	8億2,302万5千円
利子償還金	4,148万4千円

消防費 (2.4%増)	
消防事務委託事業	4億9,877万5千円
災害対策事業	4,367万円

特別会計 一般会計から分離して別に収支経理を行う会計

会計名	歳入	前年度比	歳出	前年度比
国民健康保険特別会計	37億3,884万円	0.0%	36億2,908万円	▲ 3.1%
後期高齢者医療特別会計	3億9,774万1千円	5.4%	3億9,273万2千円	5.5%
公設浄化槽事業特別会計	1,089万4千円	▲ 37.0%	1,075万8千円	▲ 37.1%

企業会計 独立採算制を採る事業の会計

	会計名	収入	前年度比	支出	前年度比
水道事業	収益的収支	10億993万4千円	0.4%	9億703万7千円	4.1%
	資本的収支	1,753万円	▲ 49.1%	3億5,785万円	▲ 18.6%
下水道事業	収益的収支	6億2,324万円	—	6億474万4千円	—
	資本的収支	1億6,022万3千円	—	2億5,492万6千円	—

※下水道事業は令和2年度から企業会計となったため前年度比を「—」と表示しています。

以上が令和2年度決算の概要です。今後も計画的な行財政運営を推進するため効率的・効果

的な事業を積極的に実施するとともに、一層質の高い行政サービスの提供に努めていきます。

